

2022 年度(令和4年度)
特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島
事業報告書

2023 年 3 月 31 日

高島市今津町中沼一丁目4-1
特定非営利活動法人コミュニティねっとわーく高島

目次

事業の成果と課題

I.法人運営

II.たかしま市民協働交流事業

1.情報発信集積事業

- (1)情報誌「おむすび・たかしま」の発行
- (2)市民活動団体情報の集積
- (3)市民活動団体のポスター展示
- (4)WEB 情報発信

2. 相談支援事業

- (1)相談件数
- (2)市民活動やまちづくり活動のためのお金の話
- (3)コピー・大判プリント等対応記録

3. 協働提案事業

- (1)協働実施支援
- (2)応募説明会
- (3)応募相談
- (4)審査会
- (5)採択団体と担当課協議
- (6)成果報告会

4. 高島市まちづくり推進会議事業

- (1)運営メンバーと運営会議記録
- (2)全体会議日程
- (3)グループ会議の記録
- (4)報告会

5. 地域自治課題解決支援事業

- (1)まちづくり講演会 「6 地域の自治協議会がめざすまちづくり
誰もが主役のまちづくりのために」
- (2)自治協議会全体への支援
- (3)自治協議会会長交流会
- (4)事務局支援
- (5)自治協議会連絡準備会への支援
- (6)自治協議会支援に関する打合せ
- (7)自治協議会会議等への参加

6. 市民協働交流事業

- (1) 高島おむすび会議「歴史と文化を守る古民家を使い守る仕組みを考えよう」
- (2) ちょこっとバザー2022
- (3) 居場所に関わっている方のための交流会

7. 研修等参加記録

- (1) 研修参加記録
- (2) 外部委員会等参加記録
- (3) 講師依頼等対応記録

Ⅲ.生活支援コーディネーター

- (1) 生活支援コーディネーター定例会・生活支援体制整備協議体会議
- (2) 研修参加
- (3) 地域資源冊子「たかしまお役立ち情報」の発行
- (4) シニアのためのスマホ講座・相談会
- (5) 団体訪問
- (6) 相談対応

Ⅳ.関係人口創出に向けた地域団体の発掘

- (1) 受入れ団体の発掘
- (2) オンライン交流会
- (3) 高島縁人コーディネーター会議
- (4) その他

Ⅴ.たかしまの森へ行こう！プロジェクト

- (1) 小さな林業の暮らし方を学ぼう
- (2) 古道ハイキング企画検討
- (3) 第27回全国棚田・千枚田サミットへの協力
- (4) 綾羽工業の森について
- (5) 情報発信
- (6) 運営会議記録

Ⅵ.コミュニティ事業

- (1) 中浜区・北浜区広域避難所運営に関する会議
- (2) 郷土料理教室
- (3) みんなのほんだな
- (4) 映画「夢みる小学校」高島市上映会

2022 年度 事業の成果と課題

<法人運営>

昨年度の継続として長期目標づくりを行い、これからの事業について各自の想いを出し合うことができた。一つずつ実現できるよう、今後は時間的な目標なども入れていきたい。

理事会、総会では出席者の意見交換時間を毎回持つことができ、それぞれの思いを共有することができた。

昨年度で今津東コミュニティセンターの指定管理が終了し、今年度から施設管理が市の直営となり、公民館と 4 組織(高島市国際協会、今津地域住民自治協議会、当法人、今津文化協会)が入居することで多様な情報交換ができた。市民活動団体の作業スペースが縮小してしまっただが、利用者の利便性が下がらないよう工夫することができた。

<たかしま市民協働交流事業>

情報発信集積事業では、取材をとおして新たな団体や事業者との関係を広げ、他の事業へもつなぐことができた。公共施設等を使った市民活動団体のポスター展示により、多様な市民活動団体の活動を伝えることができた。情報発信の一つの機会として、イベント等においても展示の機会を作っていきたい。

相談事業は、助成金や資金調達に関する相談が増加している。昨年度はコロナ禍のために開催できなかったファンドレイジング講座を開催することができた。資金に関する相談に来られた方の参加も見られた。このテーマについては毎年開催し、参加者のモチベーションを高めていきたい。住民自治協議会から会計や労務に関する相談が増え、当センターで、約 10 年、経理や労務を担当しているスタッフが対応し、各協議会の事務局の支援をすることができた。

協働提案事業は、行政提案の 2 件は提案団体と担当課の連携が綿密であり、順調に事業が進められた。市民提案の 1 件は、区・自治会内での有志による継続的な福祉活動をめざしておられるが、長期の取り組みによりゆっくりと地域の変化が見られるタイプの事業であり、1 年間の目標達成は難しい結果だった。協働提案事業としては終了されるが、継続的に支援していきたい。

成果報告会については、まちづくり推進会議の報告と重ねて実施することにより、スケジュールはタイトであったが、多くの参加者があり、協働について考える機会を提供できた。

まちづくり推進会議はまとめの年であった。2 つのグループで、課題の整理やテーマに関する現状把握のために、現地での見学や関係者からのヒアリングなどを行うことができ、現状に即した提案がまとめられた。次年度は提案の具体化をどう進めて行くのか、当センターとしてできることを探っていきたい。

住民自治協議会は運営が始まり 1 年目だった。事業内容は 6 地域それぞれ地域特性に合った内容で実施されているが、運営や実務での課題については共通のものも多く、6 地域の会長同士、事務局同士が交流する機会、学び合う機会を設けることができた。自治協議会の全体研修や全体交流会もニーズに合った形で進めることができた。

各自治協議会では、広報紙で活動を伝えているが、次年度は当センターとしても多くの市民に伝え、関心を高める機会を作っていきたい。

協働交流事業は、感染症対策をしながら市民活動団体同士の交流、市民と市民活動団体の出会いの機会を開催することができた。古民家の活用と保全をテーマに、市民や行政などの取り組みを学び、会場全体で議論し、地域課題を自分ごとにする機会を作ることができた。居場所に関する交流会は、具体的な場所を求めている人と場所を提供できる人が出会う機会になった。少人数の集まりだからこそゆっくり話せる機会として、継続していきたい。

<生活支援コーディネーター(第1層：市全域担当)>

年間のテーマを「認知症になっても暮らしていけるまち」とし、事業者や福祉分野のまちづくりに取り組む方々がともに考える生活支援体制協議体会議において、それぞれができることを出し合い、まとめることができた。テーマについて個人や組織で考えるためのツールにしてもらいたい。

シニアのためのスマホ講座については、地域サロン再開のきっかけやサークルから依頼をいただくことができた。SNSなど普段からのつながりにスマホを活用されるシニア世代を増やす目的で実施することができた。

<関係人口創出に向けた地域団体の発掘>

高島市では関係人口を、高島に関心を持ち、高島との縁を深めたいと思う高島縁人（たかしまえんじん）と呼ぶ。高島縁人を理解し、受け入れる市民団体や地縁組織を3か所、市内の地域貢献や地域資源を活かす事業者を3者増やすことができた。オンライン交流会への協力を県内の市民活動支援センター等に呼びかけたところ、6団体から協力を得られ、高島縁人に関心を持っていただくことができた。

<たかしまの森へ行こう！プロジェクト>

持続可能な森林管理として注目される「自伐型林業」に関して学ぶ企画では、5回連続講座に市内外から熱心な参加者が集まった。過疎高齢化が進む山間地に、林業の面から関わる人をつなぐことができた。

古道を歩くことで、市民が森へ足を運ぶ機会を作りたいと古道整備の方に案内いただいたが、コースの険しさから企画することはできなかった。今後も検討していきたい。

カワウの糞害をきっかけに環境政策課から相談のあった、安曇川沿いの企業所有の森について、市民に開かれた森として整備や管理を検討していく方向を企業と確認することができた。次年度から市民参加で生きものや植物の調査、持続可能な森の管理について学ぶ機会を作りたい。

<コミュニティ事業>

平成27年から地域の2か所の区と相談しながら実施してきた広域避難所運営に関する会議は、当法人が施設の入居団体となったことから今津地域住民自治協議会との共催で開催した。これまでの経緯を活かしながら継続的な実施を働きかけたい。

鮎ずし漬け体験会、みんなのほんだなは、「好きなこと」でつなぐコミュニティづくりとして今年度も実施することができた。

映画「夢みる小学校」高島市上映会は、実行委員会の立ち上げ、事務局的な立場での参加により、市民主体で子どもの未来を考える映画上映の実施を支援できた。次年度の上映会実施に向けて継続して参加していく。

以上

I. 法人運営

<目標>

昨年に行った長期目標づくりから、法人のこれまでの事業をふりかえり、これからの事業について話す時間を持ち、事業展開に生かしていく。

まちづくり講演会では、市の新たな自治の仕組みである住民自治協議会について、多くの市民が関心を向け、誰もがまちづくりに主体的に関わる仕組みであることを伝える。

<成果>

長期目標づくりは、前年度の継続で具体的な事業に落とす時間を持つことができた。時間的な目標は入れることができなかつたが、今後もこのような時間を作り、実現につなげたい。

まちづくり講演会は市民協働課との共催として自治協議会への関心を高めることができた。

1. 会員数

正会員 18 名、賛助会員 13 名（団体、個人）（2023 年 6 月）

長期目標ワーク 4 月 26 日（月）19:00～21:00
 今津東コミュニティセンター 中会議室
 参加者 7 名

これまでの事業をふりかえり、これからの事業を考える

これからの事業

目的	地域自治の普及 (参画者を増やす)	高島の魅力づくり (人自然文化)	市民活動のパワー アップ	2050脱炭素社会 をめざし、必要 な事業を支援	生涯活躍	地域の移動の足	情報をつなぐ	団体と市民がつな がる	豊かな時間づくり	視点を持つ
事業	円卓会議の再開 (人材発掘) テーマについて知 恵を出し合える場 を作る	滞在型観光資源の 整備、創出、ルー トづくり 歴史・街道の復活 観光プロデュース	市民活動団体の連 携と協働をカタチ にする事業 (団体の成果・効 果の見える化)	再生可能エネル ギーの普及 古民家や公共施 設の断熱改修 家庭菜園・堆肥 づくり講座 ゴミ問題と 処分場の活用	人材と困りごと対 応バンク	6地域の拠点(ハブ) 車プロジェクト やりたい企業を見 つける	IT講座 おむすび会議 相談対応と マッチング	市民と団体がもっ と身近な存在にな り、生涯活躍につ ながる 住民自治協と市民 団体をつなげ、市 民活動を活発にし る	主菜・副菜10品ク ラブ	指定管理 シェアスペース
財源		観光事業者のプロ ジェクト	市の予算獲得	補助金 クラファン		利用料・登録料 銀行、病院などの 寄付	マッチング手数料			指定管理料 利用料
体制						コミねつと高島			フードバンク	雇用体制

2. 理事会・総会

第1回 5月24日(火) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者6名、欠席者3名

議題・令和3年度(2021年度)事業報告(案)

- ・令和3年度(2021年度)決算(案)
- ・令和4年度(2022年度)事業計画(案)
- ・令和4年度(2022年度)予算(案)
- ・理事の選任および代表理事の互選

総会 6月25日(土) 13:30~16:00

今津東コミュニティセンター 中会議室

正会員総数18名、出席者7名、委任状4名、欠席者7名

議題・令和3年度(2021年度)事業報告(案)

- ・令和3年度(2021年度)決算報告(案)
- 報告・令和4年度(2022年度)事業計画
- ・令和4年度(2022年度)予算
- ・役員改選について

第2回 11月15日(火) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者5名、欠席者4名

議題・今年度の事業進捗について

- ・総合戦略課からの相談について
- ・綾羽工業株式会社からの相談について
- ・その他(ちょこっとバザー開催への協力)

第3回 3月14日(火) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

出席者5名、欠席者4名

・今年度事業のふりかえりと次年度事業計画について

・次年度の事務局体制について

・その他(綾羽工業の森の見学について、映画「夢みる小学校」高島市上映会実行委員会について)

3. まちづくり講演会「6地域の住民自治協議会がめざすまち

誰もが主役のまちづくりのために」

7月10日(土)13:30~16:00

今津東コミュニティセンター 3階ホール

① 6地域の住民自治協議会から報告

② 講演「誰もが主役のまちづくりのために」

講師:中川幾郎氏(帝塚山大学名誉教授、大阪大学学士(国際公共施策))

参加者 46名

※詳細については、Ⅱ章5. 地域自治課題解決支援事業(1)まちづくり講演会を参照ください。

Ⅱ. たかしま市民協働交流事業

1. 情報発信集積事業

(1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行

<目標>

市内の市民活動団体や地域貢献に意識の高い事業者や企業を取材し、市民に向けて情報提供することにより、市民の市民活動への意識を高め、また団体や組織が紙面をとおしてつながることを 目的に作成、配布する。

- ・表紙で協働提案事業 3 件を掲載し、活動への理解を広げる。
- ・伝言板は、掲載団体が固定化しないよう多様な団体の掲載をめざす。

<成果>

当初の計画通り年 4 回発行し、配布できた。

表紙では、今年度の3件の協働提案事業の紹介、「まちづくり講演会」の開催報告を掲載し、6 地域の住民自治協議会の事業方針および住民自治協議会の役割りや先進事例などを紹介することができた。

57号で紹介した市民活動団体「ほほえみ工房」は、取材をとおして長年の地道な活動を知り、滋賀県市町村振興協会の「第11回 おうみ社会貢献賞」へ推薦し、受賞された。同じく57号で紹介した「企業組合ビュースパイア」は、高島市商工会主催の「第7回高島いいモノ・いいコトグランプリ」で最優秀賞を受賞された。

伝言板については、計 22 団体、延べ 42 件の情報を掲載した。掲載団体から「問い合わせやイベント来場者が増えた」「新たな会員の申し込みがあった」等の声が届いている。継続して掲載を希望される団体も増えている。これまで団体による情報量のばらつきが大きく、レイアウトを工夫してきたが、情報量の均質化を図るため、フォーマットを決めて情報提供されるようにした。

配布先については、新たに市内の協力店・施設等が3か所増加して 106 か所となった。引き続き配置場所の拡大を図っていく。

① 発行・配布実績

発行部数：各回とも 18,000 部

配布先：市内全戸、市内公共施設、市内金融機関(銀行、JA、郵便局)、市内小中学校、市内観光施設、JR 駅構内観光案内所、市内設置協力施設および企業・店舗等

② 紙面構成○本誌 (A4 仕上げ 4 ページ)

1 ページ(表紙) 協働提案事業紹介

2 ページ 「はっけん! きらっと市民活動 in たかしま」 市民活動団体の紹介 2 団体

3 ページ 「高島の元気企業」 地域貢献に意識の高い事業者に取材し、経営理念や地域への想いを伝える

「市民活動質問箱」 市民活動に関する疑問・質問に関する情報提供など

4 ページ(裏表紙) 当センター事業告知、広告

○市内団体告知「おむすび・たかしま伝言板」（A4 両面 2 ページ）

市民活動団体、ボランティアグループ等のメンバー募集やイベント案内を掲載。

③ 掲載内容

◆55号（7月1日発行）

1. 表紙：高島市協働提案事業
「高島市の活性化につながる再生可能エネルギーと省エネルギーの普及」
FEC 自給圏ネットワーク・環境政策課
2. 市内活動団体紹介＜2団体＞（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）
一般社団法人あすラボ、美土里(みどり)ファーム
3. 質問箱：「たかしまおむすび会議」の紹介
4. 高島の元気企業：マキノ高原観光株式会社
5. インフォメーション
 - ・「まちづくり講演会」案内
 - ・市民活動団体の情報発信支援の紹介
 - ・「ちょこっとバザー」参加団体募集
 - ・たかしま市民協働交流センター スタッフ紹介
6. 広告＜2件＞：株式会社 ENON、「ふるさと絵画展」
7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計 8 件
 - ①手ではなそう②たかしま森林セラピー③たかしまおもちゃ病院④高島市の図書館を考える会⑤ADGW(Adogawa)ダンスチーム⑥高島市働く女性の家⑦NPO 法人絵本による街づくりの会⑧らくらくピアノサークル

◆56号（10月1日発行）

1. 表紙：NPO 法人コミュニティねっとわーく高島「2022 年度まちづくり講演会」報告
講演 “6 地域の住民自治協議会がめざすまち～誰もが主役のまちづくりのために～”
(帝塚山大学名誉教授 中川幾郎氏)
2. 市内活動団体紹介＜2団体＞（はっけん！きらっと市民活動 in 高島）
一般社団法人このゆびとまれ、自主保育ホトリ
3. 質問箱：イベントの後援とは？
4. 高島の元気企業：たかしまじかん
5. インフォメーション
 - ・まんまカフェぶらす 開催案内
 - ・ちょこっとバザー2022 開催案内
 - ・シニアのための出張スマホ相談会の紹介
6. 広告＜2件＞：山椒屋たけうち、己書みかん道場
7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計 9 件および特別企画 1 件
 - ①安曇川男の料理クラブ②たかしま森林セラピー③たかしまの森へ行こう！プロジェクト④くつきグリーンハーモニー⑤絵本による街づくりの会⑥巨木と水源の郷を

まもる会⑦おかたづけバザーの会⑧高島市の図書館を考える会⑨手ではなそう
・特別企画「たかしま炭焼きインフォメーション」(第27回全国棚田・千枚田サミット in 高島の開催に合わせ、市内の炭焼きグループ紹介を掲載)

◆57号(1月1日発行)

1. 表紙：協働提案事業「小地域協働型住民支援事業」
しずさと紡ぐ会・市民協働課
2. 市内活動団体紹介<2団体>(はっけん!きらっと市民活動 in 高島)
ほほえみ工房、放課後等デイサービス第一アップル・第二アップル
3. 質問箱：「協働」に関する事例の紹介
4. 高島の元気企業：企業組合ビュースパイア
5. インフォメーション
 - ・第4期高島市まちづくり推進会議の活動経過報告
 - ・「たかしまお役立ち情報」の紹介
 - ・たかしま市民協働交流センターからのご案内
「これから市民活動に取り組みたい方もサポートします！」
6. 広告<0件>：
7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計13件
 - ①かいつぶりの会高島支部②よさこいグループ舞桜嵐③精神保健福祉ボランティアメンタルポピー④たかしまおもちゃ病院⑤ADGW(Adogawa)ダンスチーム⑥たかしま森林セラピー⑦高島市の図書館を考える会⑧手紙ボランティア⑨手ではなそう⑩うたごえ浜かぜ⑪たかしまウクレレワークショップ⑫湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部⑬大溝の水辺景観まちづくり協議会

◆58号(4月1日発行)

1. 表紙：協働提案事業
『安心な移住定住への橋渡しを役を担う「関係案内所 potopoto」整備事業』
大溝の水辺景観まちづくり協議会、市民協働課定住推進室
2. 市内活動団体紹介<2団体>(はっけん!きらっと市民活動 in 高島)
テラスONE(ワン)、傾聴ボランティアグループ「ききて」
3. 質問箱：グループの代表を他の方に引き継ぎたい
4. 高島の元気企業：atelier uni (アトリエ ウミ)
5. インフォメーション
 - ・「たかしま市民活動フェスタ 2023 実行委員会メンバー募集」
 - ・「居場所に関わっている方のための交流会」開催しました
 - ・たかしま市民協働交流センターからのお知らせ
「皆さまからの情報発信をサポートします！」
6. 広告<1件>：おそうじ本舗 滋賀高島店
7. おむすび・たかしま伝言板(別紙) 市民活動情報 計12件
 - ①おかたづけバザーの会②手ではなそう③たかしまおもちゃ病院④高島市の図書館

を考える会⑤一般社団法人あすラボ⑥たかしまの森へ行こう！プロジェクト⑦らくらくピアノサークル⑧混声合唱団コーロ・いまづ⑨大溝の水辺景観まちづくり協議会⑩NPO 法人絵本による街づくりの会⑪安曇川男の料理クラブ⑫湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部

55号



56号



57号



58号



55号伝言板



56号伝言板



57号伝言板



58号伝言板



たかしま市民協働交流センターホームページ 情報誌ページ

<http://tkkc.takashima-shiga.jp/report.html>



(2) 市民活動団体情報の集積

<目標>

ホームページで市民活動団体およびボランティアグループ等をカテゴリーに分類し、各団体の連絡先や活動内容を掲載。情報誌などで取材した団体を順次掲載していく。掲載団体に内容の確認を行い更新していく。

<成果>

掲載団体は、新規に6団体増加したが、一方で解散された団体が6団体あった。掲載内容について、団体に確認し更新することができた。

カテゴリー：15 掲載団体数：106（対前年比 6 団体増・6 団体減）

子育て支援	8	子どもの体験	8	学童保育	5
青年	2	女性支援	1	文化・歴史	21
災害	3	福祉・保健	27	ボランティア	4
環境・自然	17	移住促進	1	国際	0
まちづくり	4	地域づくり	4	政策提言	1

（3）市民活動団体のポスター展示

＜目標＞

市内で活動している市民活動団体、ボランティアグループを紹介するチラシ、ポスターを市内公共施設などで展示し、市民が市民活動を知り、関心を高めることをめざした。

＜成果＞

公共施設、商業施設、イベントなどで展示することができた。人が集まる様々な場所、機会での展示を継続していきたい。

① 公共施設での展示会

	マキノ公民館	新旭公民館	朽木公民館	安曇川公民館
	4/26～5/20	6/1～30	7/22～8/26	11/18～12/25
FEC 自給圏ネットワーク	○	○	○	○
一般社団法人あすラボ	○	○	○	○
一般社団法人このゆびとまれ				○
今津古文書研究会				○
朽木 野鳥を守る会	○	○	○	○
ごみ問題を考える高島の会	○	○	○	○
たかしまおもちゃ病院	○	○	○	○
高島市青年協議会	○	○	○	○
高島市ニャンコの未来	○	○	○	○
高島野鳥の会	○	○	○	○
社会福祉法人虹の会/ゆるきち		○	○	○
フードバンクびわ湖たかしま	○	○	○	○
マキノぬくもり福祉ネットワーク	○	○	○	○
街中美化運動はなのみち	○	○	○	○
まんまカフェ	○	○	○	○
ヤングケアラーばんそう者の会	○	○	○	○
NPO 法人リバティー・ウイメンズハウス・おりーぶ		○	○	○
断舎離バザーの会	○	○		
掲示団体数	14	16	15	17

マキノ公民館



新旭公民館



朽木公民館



安曇川公民館



- ② 新旭駅前エスパ(NPO 法人元気な仲間)での展示
 期間：6月2日～6月30日
 展示団体：16団体

- ③ イベント「くるるもり市」での展示(マキノ町)
 月日：9月25日
 展示団体：16団体



(4) WEB 情報発信

<目標>

ホームページでは、当センターの活動を広報するため、基本情報、利用案内、事業報告と決算、情報誌のバックナンバーなどを掲載。市民活動団体のイベント情報、市民活動団体に向けての研修や助成金情報をタイムリーにブログに掲載し、同時にフェイスブックとツイッターで拡散。月2回のメルマガで登録者へ発信する。

- ・メルマガ登録者数を増やす
- ・助成金情報などは相談事業にも活用する

<成果>

- ・ブログ掲載内容はフェイスブック、ツイッターで同時に発信し、常にリーチ数が50～100件あり、市民活動等の関心層に拡散することができた。
- ・急なイベント告知依頼にも対応し、イベントの周知や集客につなげることができた。

- ①ホームページ：<http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

事業報告、利用案内、情報誌「おむすび・たかしま」バックナンバー、市内の市民活動団体一覧などを掲載した。



② ブログ：<http://tkkc.shiga-saku.net/>

当センターからのお知らせ、助成金情報、市内外の市民活動団体の講座やイベント、市民活動に役立つ行政や企業によるイベントなどを掲載した。

<2022年度 掲載実績>

センターからのお知らせ	51件
助成金情報	246件
高島市の市民活動情報	79件
滋賀県・全国の市民活動情報	35件
ボランティア募集情報	0件
行政、企業からのお知らせ	8件
たかしまの森へ行こう！関連	4件
イベントレポート	4件
その他(スタッフ日記)	5件
計	432件
※ 対前年度 107件増	



③ フェイスブック：<https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/>

主にブログに掲載した情報の拡散に活用するとともに、高島市内の市民団体のフェイスブックの記事のシェアを行ない、情報発信の支援を行なった。



④ ツイッター：<https://twitter.com/koryusenta>

ブログに掲載した情報の拡散に活用した。



⑤ メールマガジン

受信登録件数：184件（2023年3月末現在）※対前年度13件増

発行回数：24回（月2回発行）

内容：当センターのイベントや講座紹介、市民活動団体のイベントや講座、助成金、ボランティア募集、行政等による市民活動団体向け講座やイベント情報など、ブログ掲載記事を集約して発信した。

2. 相談支援事業

<目標>

団体の自立的、持続的な活動支援を目的に相談対応にあたる。

活動や活動への思いを伝えるための広報の重要性を伝える。団体設立では活動によって地域社会にどんな変化をめざすのか、会則づくりなどを仲間と十分に話し合うことを伝える。資金に関する相談では、助成金申請や寄付の集め方など、相談者にスキルが残るようサポートする。団体相互の連携、公的機関とのつなぎなど相談者のネットワークを広げるよう意識する。

<成果>

継続的にクラウドファンディングに関する相談を受けてきた方が、クラウドファンディングを実施し、目標額を達成された。運営サイトとの打合せがオンラインで行われるとのことで、Zoomの使い方なども支援することができた。

助成金の紹介団体が3件、助成金の申請を支援した団体2件であった。継続的に助成金情報を収集し、支援していきたい。

コミュニティビジネスに関する相談では、事業を伝えるためのツールづくり、資金集め、許認可に関することなどについて伝え、資金に関する講座にも参加された。

環境分野、福祉分野など複合した課題に対応する活動団体には、行政や市社会福祉協議会とつなぐことができた。ボランティア募集など広報によって活動の周知を支援できた。

市内に子どもの体験施設を建設予定の県外の事業者から、高島らしい子どもの体験ができる団体や施設の紹介依頼があり、森林体験や田舎暮らし体験など数団体紹介した。具体的なプログラムは次年度とのことで、夏や冬の長期休暇での企画に向けコーディネートしていきたい。

総合戦略課の関係人口創出に向けた地域団体等の発掘に対応し、市民団体3団体、地域資源の活用や循環型社会実現をめざす事業者3者を紹介できた。

「おうみ社会貢献賞」へは1団体を推薦し受賞された。今後も団体の推薦を継続していきたい。

今年度も資金に関する相談が最も多かったこともあり、市民活動やまちづくり活動のための資金に関する講座を開催した。

(1) 相談件数 93件 (85.5時間)

	相談内容	件数	時間数
1	NPO 法人・NPO 設立	3	2.5
2	NPO 法人・NPO 解散	0	0
3	コーディネート（団体等へのマッチング・紹介）	12	10
4	資金（助成金・寄付）	20	17.5
5	実務（経理、税理、労務など）	13	14
6	協働（協働提案事業関連含む）	6	4.5
7	事業計画	9	12.5
8	情報発信	13	15
9	組織運営（規約、会計、会議運営など）	4	2.5
10	センターの活動について	8	4
11	その他	5	3

相談組織

	組織	のべ件数		組織	のべ件数
1	NPO 法人	2	6	社会福祉法人	1
2	任意団体	33	7	公的機関	6
3	地縁組織	3	8	教育機関	1
3-1	住民自治協議会	24	9	その他	0
4	財団法人・社団法人	1	10	個人	14
5	営利事業者	8			

○継続相談について

① 白谷荘歴史民俗博物館(5 件)

茅葺屋根の痛みの激しい箇所の修理資金集めを、クラウドファンディングでの実施を希望しておられ、継続的に支援してきた。運営サイトに関する情報を提供し、レディフォーに決定された。運営サイトとの打合せがオンラインとのことで、Zoomの使い方などを支援。PR 文書、返礼品やお礼状などについて、相談に対応した。目標を達成され、屋根の修理を完了された。今後、大規模な修理が必要になるとのことで、茅葺屋根の修復体験会や環境学習の機会として、関心を持つ人の関わりを広げながら実施をめざしたいとのこと、継続的に支援したい。

② 高島市ニャンコの未来(2 件)

団体として活動が安定してきた。昨年度のおむすび会議で紹介した「多賀にゃん」と連携し、市内でも TNR(野良猫の捕獲、不妊手術、元の場所へ戻す)活動をしたいと希望され、ボランティア募集や資金集めなど広報の機会として、協働交流事業の「ちょこっとバザー」への参加を勧めた。出展により市民への周知の機会となり、メディアの取材なども受けられた。活動の必要性が理解され、市内で定期的な譲渡会を開催できるようになった。

生活環境分野だけでなく、多頭飼育は孤立など福祉分野にも関わる課題であり、市地域生活つむぎあい会議でも活動を紹介した。高齢化と孤立が進む社会において、保護猫活動と暮らしの困りを抱える人の見守りや社会との関わりづくりについて、福祉機関と連携が進むよう支援していきたい。

③ 美化活動はなのみち(2 件)

継続的な活動の体制づくりを支援してきた。この 2 年ほどで 30 代から 80 代が参加し、メンバーが少しずつ増加。役割分担もでき、作業参加者が増えてきた。この数年、当センターは主に新旭養護学校への連絡と広報に関する支援をしてきた。新旭養護学校は、今年度から花の育苗数が減り、譲渡できない状況となった。今後は活動内で花苗づくりを進める必要がある。活動パネル展や協働交流事業などへの参加を勧め、ボランティア募集など広報に関する支援を継続していきたい。

④ まんまカフェ(5 件)

乳がん患者や経験者のサロンを新旭総合福祉センターやすらぎ荘で定期的で開催してこられたが、参加者の固定化が課題になっていた。開催場所を変えてみたいとの希望があり、新旭水鳥観察センターを紹介。サロンに野鳥などの自然観察会も加えた



「まんまカフェプラス」の企画、広報、開催を支援した。2021年1月頃から相談対応を始め、コロナ禍で企画の延期があったが、約1年越していつもとは異なる場所とプログラムでサロンが開催された。

⑤ 北船木区の女性会議について

2020年の区長ヒアリングから継続的に相談対応してきた。区役員の担い手が減る中、区長は女性にも力を発揮してもらいたいと考えており、女性が区の活動や運営に関わるきっかけを作りたいと相談された。市社会福祉協議会地域福祉課の安曇川担当者と連携して対応。コロナで延期が続いたが、今年度、2回の女性会議を福祉推進委員に呼びかけ開催された。今後は、子ども会の保護者などにも対象を広げ、継続的に地域の魅力、課題、できること、したいことなどを話し合う機会を継続されること。

○表彰の推薦など

公益財団法人滋賀県市町村振興協会主催「おうみ社会貢献賞」へ下記団体を推薦したところ、受賞された。

第11回おうみ社会貢献賞 ほほえみ工房

(2) 市民活動やまちづくり活動のためのお金の話

ファンドレイジング講座

開催日：3月22日(水)19:00~21:00

参加者：11人(内3名はオンライン参加)

講師：戸田由美さん(認定ファンドレイザー)

内容：ファンドレイジングの基本
非営利組織の財源の特性
自団体のファンドレイジング戦略
寄付者・支援者の開拓
ファンドレイジング事例 など

ワーク：自団体のミッションとビジョンを発表感想



- ・たいへんよかった このような講座は始めてだったので、知らないことが多かった。
- ・盛りだくさんの内容、ワークや皆さんとの交流もあったのが良かった。
- ・よかった。ぜひ取り組みたいと思っています。クラウドファンディングでもいろいろな形のものがあると思いますが、それらの特徴や、メリット、デメリットなどがわかるといいなと思いました。
- ・今回受講は2回目でしたが、時代も変わり、多くの事例があると思います。その事例の紹介もしてもらえるとありがたいです。

(3) コピー・大判プリント等対応記録

① コピー・大判プリントの対応 212件

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
27	17	18	13	10	25	23	26	12	12	13	16

② 機材貸出 3件(プロジェクターの貸出 2件、ワイヤレスマイク 1件)

3. 協働提案事業

<目標>

実施中の協働提案事業について、担当課と提案団体にヒアリングしながら、適切な支援を行っていく。情報誌で協働提案事業を掲載し、市民に伝える機会を持つ。

次年度実施の協働提案募集について、新しい団体の応募をコーディネートする。

<成果>

3件の協働事業について、担当課と提案者に適宜ヒアリングしながら連携状況などを確認し、事業の実施を支援することができた。

情報誌おむすびたかしまの表紙で3件の事業を紹介し、市民に広報することができた。

今年度で協働提案を終了する事業については、団体と担当課に次年度以降の継続方法について確認し、しずさと紡ぐ会については助成金を紹介した。大溝の水辺景観まちづくり協議会は担当課と連携しながら事業が継続されることを確認した。協働提案事業終了後の事業の継続や展開についてフォローし、必要な支援を続けたい。

(1) 協働実施支援

① 小地域協働型住民支援事業

提案者：しずさと紡ぐ会

担当課：市民協働課

5月10日 事業スケジュール、目標の打合せ

8月23日 サロン訪問、事業展開相談

10月20日 事業進捗と予算執行状況の確認

11月21日 視察先(大野木長寿村まちづくり会)との連絡調整

12月8日 中間点検、次年度相談

3月2日 成果報告の確認

② 安心な移住定住の橋渡し役を担う「関係案内書 potopoto」整備事業（行政提案）

提案者：大溝の水辺景観まちづくり協議会

担当課：市民協働課 定住推進室

11月15日 中間点検、次年度相談

2月14日 事業取材、成果報告の確認

③ 高島市の活性化につながる再生可能エネルギーと省エネルギーの普及（行政提案）

提案者：FEC 自給圏ネットワーク

担当課：環境政策課

4月21日 事業スケジュール、目標の打合せ

毎月の定例会議に対応

(5月24日、6月22日、7月27日、9月1日、10月6日、10月26日、
11月15日、12月7日、1月12日、2月13日)

講演会開催支援(6月18日、7月16日、9月17日、10月15日)

2月17日 成果報告、次年度事業の確認

(2) 募集説明会

市主催の応募説明会で、参加者の質問などに対応した。

10月12日

市役所

(3) 応募相談

応募に向けて提案に関連する行政部局との相談にファシリテーターとして対応した。
10月24日 たかしまライフワーク Sta.、人権施策課、商工振興課
11月16日 認定NPO法人TSC、市民スポーツ課、環境政策課
11月18日 たかしま湖岸景観整備機構、環境政策課

(4) 審査会

プレゼンテーション(3団体)、担当課ヒアリング、選考会において、アドバイザーとして対応した。

12月21日(水) 10:00~14:30 市役所

(5) 採択団体と担当課の協議

新年度からスムーズに事業を始めることができるよう、目標、互いの役割、スケジュールなどを確認する機会において、ファシリテーターとして対応した。

① 高島市の活性化につながる再生可能エネルギーと省エネルギーの普及(行政提案)

提案団体: FEC自給圏ネットワーク

担当課: 環境政策課

2月17日

② スポーツの可能性を広げる、新しいウォーキングイベントの開催(行政提案)

提案団体: 認定NPO法人TSC

担当課: 市民スポーツ課

2月10日、2月22日

③ 「たかしまで女性のライフワークを叶える」プロジェクト

提案団体: たかしまライフワーク Sta.

担当課: 人権施策課

2月20日

(6) 成果報告会

「たかしま市民協働フォーラム2023」

第1部は第4期高島市まちづくり推進会議および協働提案事業の成果報告会として開催。

第2部は参加者同士で「協働」について意見交換の機会を持った。

開催日: 3月25日(土) 13:30~17:00 今津東コミュニティセンター3階大ホール

参加者: 50名

まちづくり推進会議 委員9名、研究者4名

協働提案事業3団体 6名、審査員3名

一般参加者29名



4. 高島市まちづくり推進会議事業

<目標>

第4期の2年目。12名の市民委員が関心のあるテーマで2つのグループを作り、テーマについて、地域の課題解決に向けて課題の整理や具体的な取り組みについて話し合う。毎月の全体会議では、2つのグループが相互に意見交換しながら、行政と市民への提案をまとめる。テーマに関する行政としての取り組み、市民としての取り組みについてまとめ、報告会において発表する。各グループの会議には、関連する部局から協働のまちづくり推進本部員（本部員）が参加し、行政の取り組みや方針を情報提供することによって、まとめられる提案がより実現性の高い提案となることをめざす。

<成果>

会議をとおして、市民委員は関心を持つテーマに関して、現状を理解し、地域課題に対する行政の取組を知ることができた。市民委員と本部員が意見を交わすことにより、お互いの立場や視点の違いに気づく機会となったと考えられる。

2つのグループがまとめた提案は、具体化に向けて行政での施策化、市民による活動につながるために支援していきたい。

(1) 運営メンバーと運営会議記録

事務局：たかしま市民協働交流センター、高島市市民協働課

研究者チーム

○世代を越えた人のつながりを地域でつくるグループ(世代グループ)担当

木村道徳（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員）

熊澤輝一（総合地球環境学研究所 准教授）

○資源の再認識と活用グループ(資源グループ)担当

王 智弘（京都精華大学 特別研究員）

小野 聡（千葉商科大学商経学部 専任講師）

運営会議記録（オンライン会議）

月日	内容
4月11日	各グループのテーマで、どんな地域課題の解決をめざすのか
5月9日	各グループの課題設定について
6月1日	各グループのアウトプットについて、各グループの課題認識について
7月8日	資源グループ：インタビューについて 世代グループ：ボードゲームカフェでの実践について
8月23日	資源グループ：インタビュー後のゴールの確認 世代グループ：実践後のめざす方向の整理
9月23日	資源グループの会議の進め方確認

11月6日	世代グループの進め方について
11月30日	提案をまとめる方向性について
1月26日	世代グループの情報提供など

(2) 全体会議日程

各グループでの進捗や方向性を全体で共有し、お互いに意見交換する機会とした。

(会場は市役所会議室)

第12回	4月3日(日)	参加委員 10名、本部員 3名
第13回	4月24日(日)	参加委員 10名、本部員 3名
第14回	6月5日(日)	参加委員 7名、本部員 3名
第15回	7月3日(日)	参加委員 8名、本部員 3名
第16回	7月31日(日)	参加委員 8名、本部員 3名
第17回	9月4日(日)	参加委員 7名、本部員 4名
第18回	10月2日(日)	参加委員 8名
第19回	12月11日(日)	参加委員 5名、本部員 1名
第20回	1月8日(日)	参加委員 8名、本部員 2名
第21回	2月5日(日)	参加委員 9名、本部員 3名
第22回	3月5日(日)	参加委員 7名、本部員 2名

(3) グループ会議の記録

①資源の再確認と活用グループ

当グループでは、高島市内にあるさまざまな地域資源の中から、高島市域を歴史的・経済的・文化的に支えてきた「地場産業」に注目し、その中でも「高島ちぢみ」をテーマとして市民協働の視点からのアイデアをまとめた。



高島市民が、地場産業としての高島ちぢみをより深く理解することで高島での暮らしの魅力を高めることができないか、市民、高島ちぢみ製造業者、市内の事業者、行政の視点からそのためのアクション(プログラム)を検討した。

月 日	内 容	委員・本部員
4月3日	(これからの)高島らしい「資源」の考え方について	4名・一
4月24日	“高島ブランドのものを市民に届ける仕組み”について検討	4名・1名
5月14日	“高島ブランドのものを市民に届ける仕組み”について検討	4名・1名
6月5日	“高島ブランドのものを市民に届ける仕組み”について検討	3名・2名
6月18日*	“高島ブランドのものを市民に届ける仕組み” → 高島晒協業組合の見学・取材について検討	4名・1名

7月3日	高島晒協業組合の見学・取材について検討	3名・1名
7月16日*	高島晒協業組合の見学・取材について検討	4名・―
7月31日	高島晒協業組合の見学・取材について検討	4名・1名
8月3日★	高島晒協業組合 工場見学と取材【新旭町旭】	4名
8月11日*	高島晒協業組合の見学・取材の振り返り	3名・―
9月4日	グループの活動方針の再検討	4名・2名
9月17日*	グループの活動方針の再検討（ゴールの設定について）	2名・1名
10月2日	グループの活動方針の再検討（ゴールの設定について） → 高島市での暮らしの魅力を高める	4名・―
10月15日*	市民と地場産業としての高島ちぢみを近づけるアクションの検討	4名・1名
11月6日	市民と地場産業としての高島ちぢみを近づけるアクションの検討	4名・2名
11月12日*	市民と地場産業としての高島ちぢみを近づけるアクションの検討	3名・―
11月19日*	市民と地場産業としての高島ちぢみを近づけるアクションの検討	4名・―
12月11日	報告書掲載内容検討	3名・―
1月8日	報告書掲載内容検討	4名・1名
1月21日*	報告書掲載内容検討	4名・1名
2月5日	報告書掲載内容検討、構成検討	4名・1名
2月18日*	報告書構成検討	4名・1名
3月5日	報告書 確認、「たかしま市民協働フォーラム」発表内容検討	4名・1名
3月20日*	「たかしま市民協働フォーラム」発表練習	3名

(*) … 資源グループでの zoom 会議

★ … 資源グループでの活動

②世代を越えた人のつながりを地域でつくるグループ

多様な世代の接する機会が減り、他の世代への理解が減っている現在、世代を越えて人が交流できる「他者理解」の場が必要であるという課題感から議論を始めた。

市内の多世代が集まる場が運営されている事例では、「顔見知り」にはなれるが、気になることなどコミュニケーションができる関係性を作るのは難しいことが見えてきた。

そこで、市民活動団体やボランティアグループなどの支援、連携の機会づくりをしているたかしま市民協働交流センター（協働交流センター）において、市民の他者理解の機会をつくる新たな3つの機能について検討し、提案をまとめた。



月 日	内 容	委員・本部長
4月3日	世代を越えたつながりでどんな地域課題が解決されるのか	6名・3名
4月24日	世代を越えて、地域の課題を話せる場について	5名・2名
5月20日	ポッチャ体験、多世代の人が一緒に話し合える場を考える	5名・3名

6月5日	多世代を定義しよう。話せる場の目的とは	4名・1名
6月14日	多世代が相互に情報と課題を共有する場をつくる	4名・4名
7月3日	ボードゲームカフェで多世代の対話を試みるために	4名・2名
7月31日	ボードゲームカフェでの多世代の対話の目標	4名・2名
8月10日	ボードゲームカフェでの多世代交流の時間の進行について	6名・1名
8月21日	ボードゲームカフェで多世代交流実践	4名
9月4日	ボードゲームカフェでの多世代の対話のふりかえり	4名・2名
9月13日	多世代で集まる場の目標と既にある多世代で集まる場について	7名・1名
9月20日	新旭駅前ふれあい食堂についてヒアリング	5名・1名
10月2日	多世代が集まる場でどんな関係性をめざすのか	4名・-
10月28日	多世代が集まる場で顔見知りを作るために	4名・1名
11月22日	つなぎたいターゲットを絞る	3名・1名
12月11日	まちのキーマンをつなぐために	2名・1名
12月19日	協働交流センターの現在の機能を知り、世代をつなぐための新しい機能を考える	4名・1名
1月8日	世代をつなぐための協働交流センターの機能を考える	3名・1名
1月17日	人材の発掘機能(世代を越えてまちのことを話せる場)とは	4名・2名
1月26日	人材の発掘機能のまとめ	4名・1名
2月5日	人材の発掘機能とその他の機能を考える	5名・1名
2月15日	提案のまとめ方について	4名・1名
3月5日	提案のまとめ方について	3名・1名
3月10日	提案のまとめ方について	4名・1名
3月16日	提案まとめの確認	4名・1名
3月20日	提案の発表方法について確認	4名・1名

(4) 報告会：たかしま市民協働フォーラム

「まちづくり推進会議」「市民協働提案事業」報告会（内容は 3.協働提案事業を参照）



5. 地域自治課題解決支援事業

<目標>

住民自治協議会の自律的な活動開始の初年度であり、各自治協議会の運営や事業に関する情報共有の機会づくり、事務局の運営、労務や会計に関する情報共有や学習の機会づくりを行い、相互に学び合う関係性づくりをめざす。

まちづくり講演会では、6地域の自治協議会がそれぞれに目指すまちづくりについて市民に伝える機会にすると同時に、自治協議会の役割りや市民の関わりについて学ぶ機会とする。

<成果>

まちづくり講演会では、各自治協議会からめざすまちづくりを発表していただくことができた。また新たな住民自治の必要性とどんな事業をするべきなのか分かりやすく伝えていただくことができた。市内の高校にも広報したところ関心を持つ生徒が数名参加され、多様な世代の参加が見られた。

6地域の住民自治協議会の会長交流会、事務局交流会、全体研修会、全体交流会を通して、お互いの活動を知り、互いに情報共有による学び合いの関係性を作ることができた。

(1) まちづくり講演会

6地域の住民自治協議会がめざすまちづくり

「誰もが主役のまちづくりのために」

6地域の住民自治協議会が設立し、それぞれがめざすまちづくりについて市民に伝え、同時に各自治協がお互いに知る機会を作ることができた。

講演会では、講師 中川幾郎氏からこれまでの地縁組織の見直しと新たな住民自治組織の役割りや可能性について分かりやすくお話しいただいた。住民が自己決定による自治を進めて行く上でのリーダーの見つけ方、マイノリティへの視点、多様な市民の関わりを作る工夫などについて分かりやすく講演いただいた。

高校生から70歳代まで参加が見られた。参加者の半数が50代、60代であり、まちづくりを支える世代が自治協議会への関心を高めていることが感じられた。

開催日 7月10日(日)13:30~16:00

会場 今津東コミュニティセンター 3階大ホール

講師 中川 幾郎氏 (帝塚山大学名誉教授、大阪大学学士 国際公共施策)

参加者 46名

アンケート回答者 28名

感想意見(一部抜粋)

- ・地域に住む人たちのコミュニケーションなどにより安心を得る、感じることの大切さが理解できた。
- ・各自治協の取り組みや目指している事など、よくわかって、いろいろ参考になり、考えさせられることもあった。
- ・それぞれの協議会で大切にしたいこと、進め方など、よく分かりました。安心でき信頼できる関係性を一歩いっぽ広げ、豊かにしていく。具体的な困りごと、必要なことから、信頼できる関係性をきづいていく。これが自治協の役割りかなと話を聞きながら思った。
- ・難しそうだと思っていた内容も、分かりやすい説明のおかげで理解することができました。少子化、人口減少により、地域のつながりが薄れている今、地域のつながり

を強固にするのは重要だと考える事ができました。 など



(2) 自治協議会全体への支援

自治協議会の役割り、事業の考え方などを学ぶ機会を提供した。

① 全体研修会

10月5日(水) 9:30~12:00

市役所新館 3階 会議室 9-11

講師：中川幾郎さん(帝塚山大学 名誉教授)

内容：講義「区・自治会の役割り、自治協議会の役割りと機能の違い

自治協議会が取り組む事業とは？」

グループワーク「所属の自治協でのいい点、課題だと思ふ点、課題に対するアイデア出し」

全体で質疑応答

参加：6 地域自治協議会 20 名、
市民協働課 1 名

② 全体交流会

2月23日(木・祝) 13:30~16:00

新旭公民館 多目的ホール

参加：6 地域自治協議会 39 名、
市役所 6 名、市社会福祉協議会 1 名

内容：6 地域自治協議会 事業報告(各 15 分)

グループ対話

山元アドバイザーからコメント



(3) 自治協議会会長交流会

マキノ地域と今津地域の会長から会長同士で情報交換の機会を持ってないかと相談があり、継続的に開催することにした。組織運営および事業展開についての工夫や課題への対応などをお互いに知り、また組織内では相談できない会長ならではの課題について話せる機会となった。

① 5月8日(日)11:30~13:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加：マキノ、今津、新旭、朽木、高島

内容：各地域の状況共有、今後の会長交流会開催頻度やグループラインでの情報共有を確認。全地域の総会資料共有をした。

② 8月5日(金)13:30~16:30

マキノ土に学ぶ里研修センター 2階会議室

参加：マキノ、今津、新旭、朽木、安曇川、高島

内容：事務局体制、会計書類など事務書類について、10月全体研修会について



③ 10月4日(火)13:30~16:30

高島公民館 会議室2

参加：マキノ、今津、新旭、朽木、安曇川、高島、市民協働課

内容：各自治協状況共有、市民協働課から相談(自治協連絡会、次年度予算について)

④ 12月6日(火)9:30~12:00

朽木支所 2階 会議室

参加：今津、新旭、朽木、安曇川、高島、市民協働課

内容：各自治協状況共有、次年度の計画づくり、理事や役員との意識共有について

⑤ 1月26日(木)10:00~12:00

安曇川公民館 団体活動室

参加：マキノ、今津、新旭、朽木、安曇川、高島、市民協働課

内容：全体交流会について、各自治協状況共有、自治協連絡会準備会について

⑥ 3月3日(金)10:00~12:00

まちらぼ・エスパ

参加：マキノ、今津、新旭、朽木、安曇川、高島、市民協働課

内容：全体交流会ふりかえり、自治協連絡会準備会について

(4) 自治協議会事務局支援(交流会、ヒアリング、会計講座)

各自治協議会の事務局員が実務的な課題や悩みを共有し、学習機会を作るために開催した。会計に関する講座は、事務局ヒアリングからニーズを聞き開催した。

① 事務局ヒアリング

事務局体制、労務手続きや会計に関する気になる点について聞き取った。

地域	日時	対応	体制
今津	4月22日	事務局長、支援員	事務局長1名、支援員3名体制
マキノ	4月28日	会長、事務局長、支援員	事務局長1名、支援員1名体制
朽木	5月10日	支援員	支援員1名、会長と副会長が事務局員として対応
安曇川	5月12日	事務局長、事務局員	事務局長1名、事務局員1名体制
高島	5月12日	理事、支援員	支援員1名体制

② 事務局交流会

5月27日(金)13:30~15:30

安曇川公民館 団体活動室

参加：マキノ、今津、朽木、安曇川、高島

内容：各事務局運営体制など状況共有、市民協働課に確認したいことなど

③ 事務局会計勉強会（会計に関する基礎）

6月17日(金)13:30~15:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

講師：税理士法人小畑会計事務所 代表社員税理士 小畑雅人先生

参加：マキノ、今津、朽木、安曇川、高島、市民協働課

④ 事務局ヒアリング

会計管理状況、予算執行状況の確認

地域	日時	対応	備考
高島	10月6日	会長、事務局員	予算の減額について
新旭	10月6日	事務局員、市民協働課	会計管理初めて
今津	10月7日	事務局長、事務局員	会計管理経験あり。予算どおり執行予定
安曇川	10月7日	事務局長、事務局員	会計管理経験あり。事務局が区・自治会長訪問中。
朽木	10月11日	支援員	会計管理経験あり。会計ソフトの導入必要性訴え
マキノ	10月12日	会長、事務局長	事務局員再募集

⑤ 事務局交流会

11月22日(金)16:00~16:30

(税務署による年末調整・インボイス制度説明会終了後)

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加：今津、新旭、朽木、安曇川

内容：年末調整に関する質疑応答、会計ソフトについて情報提供

⑥ 事務局巡回支援
年末調整処理、その他

地域	日時	対応	備考
新旭	1月11日	支援員	年末調整について支援
安曇川	1月20日	事務局長、事務員	年末調整および法定帳簿の確認
今津	1月20日	事務局長、事務員	年末調整および法定帳簿の確認
朽木	1月24日	支援員	年末調整および法定帳簿の確認
マキノ	1月27日	会長、事務局長、事務員	雇用関係の手続き確認

⑦ 事務局交流会

2月24日(金) 13:30~16:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加：マキノ、今津、新旭、朽木、安曇川、高島、市民協働課

内容：決算および実績報告の提出に関する注意点について、Zoom 会議体験(希望者)

⑧ 事務局ヒアリング

実績報告書に関する確認、全体交流会で出された質問への回答確認

地域	日時	対応	備考
マキノ	3月14日	事務局長、事務員	経費使途について質問→市民協働課へ
安曇川	3月15日	事務局長、事務員	経費使途について質問→市民協働課へ
朽木	3月15日	支援員	実績報告に添付の領収書について 経費使途について質問→市民協働課へ
今津	3月17日	事務局長、事務員	実績報告に添付の領収書について
新旭	3月17日	事務員、支援員	年度を超えて請求される経費について質問

※市民協働課から自治協議会への交付金の使途については、「みんなで創るまちづくり 交付金 事務の手引き」に記載されている対象範囲であるとの回答があり、各自協へ連絡。

(5) 自治協議会連絡会準備会への支援

市役所が設置する自治協議会連絡会準備会の開催および運営を支援した。

準備会において、自治協議会の持続的な運営を目的に、行政と自治協が意見交換する機会であることが確認された。

① 2月3日(金) 19:00~20:30

市役所新館 3階 会議室

内容：・コミュニティ推進指針と自治協議会連絡会設置要綱について

・各自治協の課題共有「ヒト」「モノ」「コト」「カネ」に関すること

② 3月13日(月)10:00~11:30

市役所新館 3階 会議室

内容：2つの課題について意見交換

課題 1) 交付金の効果的な執行について

課題 2) 自主財源など持続的な運営のための準備について

(6) 自治協議会支援に関する打合せ

市民協働課、アドバイザー、交流センターの3者で自治協議会支援に関する打合せおよび自治協議会の支援に当たる市職員へのヒアリングを行った。

5月6日	各自治協議会状況確認、各自治協議会の交流、全体研修について	今津東コミュニティセンター
4月22日	今津地域住民自治協議会支援員ヒアリング	今津東コミュニティセンター
4月28日	マキノ地域住民自治協議会支援員ヒアリング	マキノ土に学ぶ里研修センター、マキノ駅
5月10日	朽木地域住みよいまちづくり推進協議会(朽木すみまち)支援員ヒアリング	朽木支所
5月12日	安曇川地域住民自治協議会支援員ヒアリング	安曇川公民館
5月12日	高島地域住民自治協議会支援員ヒアリング	高島公民館
6月22日	住民自治協議会に関する担当職員研修会(第1回)	新旭公民館
6月22日	新旭地域住民自治協議会へのアドバイザーヒアリングに同行	市役所
6月23日	朽木すみまちへのアドバイザーヒアリングに同行 安曇川地域住民自治協議会へのアドバイザーヒアリングに同行 マキノまちづくり協議会へのアドバイザーヒアリングに同行	朽木支所 安曇川公民館 マキノ駅観光案内所
6月24日	マキノ支所へのアドバイザーヒアリングに同行 今津地域住民自治協議会へのアドバイザーヒアリングに同行	マキノ支所 今津東コミュニティセンター
8月18日	会長交流会の内容共有、全体研修について	オンライン
11月21日	マキノまちづくり協議会へのアドバイザーヒアリングに同行 安曇川地域住民自治協議会へのアドバイザーヒアリングに同行	マキノ駅観光案内所 安曇川公民館
11月22日	今津地域住民自治協議会へのアドバイザーヒアリングに同行	今津東コミュニティセンター
12月8日	自治協議会状況共有、全体交流会、自治協議会連絡会について	オンライン
1月6日	全体交流会、自治協議会連絡会準備会について	オンライン
1月13日	自治協議会連絡会準備会について	オンライン
1月27日	自治協議会連絡会準備会について	オンライン
3月7日	自治協議会連絡会準備会について	オンライン

(7) 自治協議会会議等への参加

○新旭地域住民自治協議会設立準備会

第17回 4月19日 市役所

第18回 5月10日 市役所

第19回 5月17日 市役所

設立総会 5月21日 新旭公民館、第1回役員会

第1回まちらぼカフェ 2月4日 wacca

○マキノ地域住民自治協議会

令和4年度通常総会 5月21日 土に学ぶ里研修センター

本音でトーク打合せ 2月16日 土に学ぶ里研修センター

本音でトーク 2月24日 小荒路区集会所

○朽木すみまち

第1回すみまちカフェ打合せ 10月21日 オンライン

○高島地域住民自治協議会 理事会

第6回理事会 1月21日 高島公民館

第7回理事会 3月9日 高島公民館

6. 市民協働交流事業

<目標>

コロナ禍のため、市民活動団体やボランティアグループがつながる機会と市民が市民活動へ参加のきっかけづくりを目的とする「市民活動フェスタ」の中止が続く中、多様な分野の団体が出会い、交流による団体の活性化、連携のきっかけを作る。

市民が、市内で活動する多様な市民活動団体等を知る機会や団体と出会う機会を作り、市民活動への参加のきっかけを作る。

<成果>

古民家の活用と保全をテーマに、関心のある市民や団体が、テーマに関する行政や民間の取り組み事例を知り、協働や各自ができることなどを意見交換する機会として「おむすび会議」を開催し、意見交換することができた。

コロナ禍ではあるが、市内でもイベントが再開されており、感染症対策に十分配慮しながら「ちょこっとバザー」を開催した。市民活動団体同士、市民と市民活動団体との出会いと参加のきっかけをつくることができた。参加団体数は限られているが、今津東コミュニティセンター全館と屋外も活用し、多くの来場者を迎えることができた。参加団体から多くの感想、意見が寄せられ、イベントへの期待が感じられた。次年度の事業へ活かしていきたい。

居場所に関する交流会は、居場所運営者、居場所を求めておられる方が出会う機会になった。フリートークで話が広がり、障がい児童生徒への理解、世代を越えて市民が出会える場など、参加者同士の連携で新しい場が生まれる可能性を感じることもできた。

(1) 高島おむすび会議

「歴史と文化をつなぐ古民家を使い守る
仕組みを考えよう」

9月26日(月) 19:00~21:30

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者：6名

話題提供：「高島市の文化財の現状と市民参加」

山本晃子さん

(高島市教育委員会文化財課)

「保存再生活動と地元」

大石義一さん(ヴォーリズ今津郵便局の会 代表)

「古民家を通じて地域の伝統文化を次世代へ」

川島光男さん(白谷荘歴史民俗博物館 代表)

「農家民宿を通して田舎と古民家の良さを知ってもらおう」

河野至宏さん(農家民宿たらいち邸 共同代表)

意見交換でのアイデアなど

- ・活用と保全には、観光分野や商工会分野の方々との連携が必要。
- ・小学校などの地域を学ぶ授業で、地域の歴史的な建物や古民家での体験など印象に残る工夫をして子どもたちにも関心を向けてもらいたい。
- ・地元の方々はその建物の大切さを知り、小さな関わりを持てる機会を作り、地元全体で保全活用につなげていくことが大切。



- ・ヘリテージマネージャーでもあり、専門家として古いままに良さを活かして維持したいと考えている。

(2) ちょこっとバザー2022

12月4日(土) 10:00~15:00

今津東コミュニティセンター

参加者 推定 300~350 名(名簿記載人数 251 名)

販売や体験などをとおして来場者への活動紹介および資金集めを目的とした団体が参加した。飲食場所には2階を指定し、来館者が安心して飲食できる場所を設けた。

① バザー (3階大ホール・3階ロビー)

団体	販売物	団体	販売物
南深清水 FF 倶楽部	果物、野菜、スイーツ類	BIWAKO おそうじ隊	雑貨
一般社団法人あすラボ	森のつみき おはなしころりん	家庭的保育園 Peek-a-boo	こども服
こころのかけはし (高島市障がい者相談支援センターコンパス)	衣類、雑貨	湖西高島命の第九を歌う会	雑貨
高島市ニャンコの未来	雑貨	NPO 法人リバティー・ウイメンズハウス・おりーぶ	アクセサリ類
NPO 法人絵本による街づくりの会	アクセサリ類	一般社団法人このゆびとまれ	木工製品等

② 体験ブース(3階大ホール)

団体	体験
一般社団法人あすラボ	ボードゲーム、学用品リサイクル
NPO 法人リバティー・ウイメンズハウス・おりーぶ	ゲーム、石鹸づくり、ルームフレグランスづくり
NPO 法人絵本による街づくりの会	絵本リサイクル、アクセサリ類

③ ステージコンサート(3階大ホール)

- ・河原エレクトーンピアノ教室
- ・ポコポコホルン

④ 飲食提供(2階調理室・1階玄関前)

団体	販売物	団体	販売物
安曇川男の料理クラブ	カレー	男のかまないクラブ	ピザ
街中美化運動はなのみち	野菜	一般社団法人このゆびとまれ	焼き芋
家庭的保育園 Peek-a-boo	ぜんざい		

⑤ 保護猫活動の紹介

- ・高島市ニャンコの未来

⑥ 参加団体感想、意見

- 高島市に住んでいてもまったく接点のない方たちと同じ話題でお話できたこと。今回は準備段階からできたらいいなの話も含め、いろいろと意見交換できたので楽しかった。
- 利用者の就労訓練として機能しました。
- 他の団体さんと交流できたこと。自分たちの活動をPRできたこと。事前の打ち合わせを丁寧にしてくださったこと。
- 参加した市民との対話がたのしかった。
- 参加団体の名前が知れた点。
- 関係者の準備は大変だったと思います。もう少し参加団体に下準備の要請をされたほうがよかったと良いのでは？
- 仲間内のメンバーとあまり話す機会がなかったが、一つの目標に向かって働くことにより交流が深まったように感じた。
- コロナで活動制限をされるところがある中、参加できたこと。普段出会うことが少ない他団体のみなさんとの交流が図れたこと。出店にはかなりのエネルギーが必要でしたが学べることが多く、その経験を日々の支援に生かしてゆければと思っています。
- 他団体と交流ができたこと。バザーの売上も良かったこと。
- それぞれの団体と打ち合わせしてしまったせい（と思っています）で、使う場所や物品を先に決めてしまっていたり、平等ではなかったこと。
- 会場規模に比べて出店数が多すぎると感じました
- ステージ演奏が長く（2時間）、人の流れが堰き止められ売上に大きく影響しました。（在庫を多く抱えました）2時間では普通にスクール単独コンサートではないかと思えますが・・・。普通持ち時間は30分程度でしょうか。
- 自分達のブースが忙しかったため、他のコーナーをゆっくり見られなかった。（もっと見たら良かったと後で後悔しました）3階に人が集中していた様に思う。
- 事前の交流会があったら参加団体を活動も理解が深めた。
- 他の団体さんとほとんど交流することがなかった。
- 開場時間、終了時間があいまいであった。
- 食べ物がもう少しあると良かった。



⑦ 実行委員会

- 第1回 実行委員会 (6 団体参加)
7月26日(火) 10:00~11:30 今津東コミュニティセンター 小会議室(1) + zoom
- 第2回-1 実行委員会 (2 団体参加)
10月7日(金) 15:00~17:00 今津東コミュニティセンター 小会議室(2) + zoom
- 第2回-2 実行委員会 (3 団体参加)
10月13日(木) 15:00~17:00 今津東コミュニティセンター 小会議室(2) + zoom
- 第3回-1 実行委員会 (5 団体参加)
10月31日(月) 19:00~21:00 今津東コミュニティセンター 中会議室
- 第3回-2 実行委員会 (1 団体参加)
11月3日(木) 19:00~21:00 今津東コミュニティセンター (zoom)
- 第3回-3 実行委員会 (5 団体参加)
11月9日(水) 10:00~12:00 今津東コミュニティセンター 中会議室
(上述の回その他、別途 個別打ち合わせも随時実施)
- 大ホール利用団体による場所配分打ち合わせ (10 団体参加)
11月29日(火) 13:00~15:00 今津東コミュニティセンター 大ホール
- 事前準備 12月3日(土) 13:00~

(3) 居場所に関わっている方のための交流会

市内で「居場所」の運営や居場所に関わる方の交流により、連携や協働のきっかけとなることを目的とした。テーマを設定せず、フリートーク形式で参加者間で懇談していただいた。

令和5年2月25日(土) 10:00~12:00

今津東コミュニティセンター 中会議室

参加者 8名



○話題

- 自分たちの活動を知ってもらうこと、活動を地道に続けることが重要
- 人が集まる機会を続けていたら、そこが居場所になった
- 他の団体などつながって、世界を拡げたいと思っている。情報が欲しい
- きれいな場所が、居心地が良い場所とは限らない
- 場所を持つ方と場所を求めている方のマッチングの機会があると良いのではないかと
- 集まるにはきっかけ、テーマ、コンセプトが必要→「行きたい場所」「来やすい場」をつくる
- 心が動くと人は動く
- 居場所を続けていくためには、運営・管理体制も重要

居場所を必要としている方と居場所を作りたい方のつながりも生まれ、有意義な機会となった。参加者はそれぞれ思いを持って居場所(人が集う場所)と関わっているが、このような居場所に関わる人が、地域や分野、世代を越えてつながることで、地域の活性化に大きく寄与し得ることを再認識できた。

今後もこのような交流会を継続して持ち、居場所に関わっている方々のつながりが広がり深まっていくことに貢献したい。



7. 研修等参加記録

<目標>

市民活動センター意見交換会への参加により、中間支援センターとしてのスキルアップを目指す。業務遂行に有効な研修やセミナーには積極的に参加する。

高島市(総合戦略課、社会福祉課等)の会議委員には積極的に対応し、行政の方向性や取り組みの理解と当センターの事業との連携を探る。

共同募金委員会審査会への対応により、共同募金への寄付状況および助成申請団体について知る機会とする。

<成果>

研修では、中間支援に必要な情報やスキルアップにつながる研修を受講することができた。協働の推進や社会的インパクト評価については継続的な学びの必要性を感じた。

行政等の委員会への参加により、行政や関連機関とつながる機会になった。

高島市共同募金委員会審査員として、ボランティアグループの活動を知ることができ、情報発信事業につなげることができた。

市内外の団体、自治体から講師依頼があり、高島市の市民活動や協働事業、当センターの活動を紹介することができた。

(1) 研修参加記録

① 市民活動支援センター意見交換会

第1回 7月21日 オンライン

テーマ：労働者協同組合法の概要等について

第2回 10月28日 白雲館(近江八幡市)

テーマ：ハートランド推進財団による近江八幡市旧市街まち歩き

② NPOと行政の対話を促進するための基礎講座

5月11日、16日 オンライン

主催：認定特定非営利活動法人日本NPOセンター

③ いきがい・助け合いサミット in 東京

9月1日、2日 オンライン

主催：公益財団法人さわやか福祉財団

分科会1「先進自治体の取り組む地域共生社会～自発的自立的な連携の動き～

分科会16「認知症の人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか」

分科会29「学生・生徒がボランティア活動を進展させる方策」

④ 課題解決型協働推進セミナー

「失敗から学ぶ」協働の進め方 ～視点を変えることで、新たな役割が見えてくる～

2月16日 オンライン

主催：淡海ネットワークセンター

⑤ 社会的インパクトセミナー2022

「実践！」今年の事業を振り返ろう～「やった！」だけでは終わらせない～

3月22日 県民交流センター(ピアザ淡海)

主催：淡海ネットワークセンター

講師：土岐三輪さん(一般社団法人インパクト・マネジメント・ラボ)

(2) 外部委員会等参加記録

- ① 福祉のまちづくり推進委員会
第2回 2月16日 市役所

- ② サスティナブル高島ネットワーク会議
第1回 7月15日 市役所
第2回 10月27日 市役所
第3回 12月27日 市役所
第4回 3月23日 市役所

- ③ 高島市地域生活つむぎあい会議
第1回 7月26日 市役所
第2回 1月26日 市役所

- ④ 高島市共同募金委員会審査会
第1回 6月9日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
第2回 7月14日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
第3回打合せ 10月17日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘
第3回 10月20日 新旭総合福祉センターやすらぎ荘

- ⑤ 高島市相談窓口職員連絡会
第2回 2023年3月8日 市役所

- ⑥ 第27回全国棚田サミット実行委員会
第6回 4月20日 市役所
講演・分科会・現地見学班会議 5月19日 市役所
第7回 6月2日 市役所

(3) 講師依頼等対応記録

- ① IEG 高島 定例会
高島市の市民活動紹介
9月17日 今津東コミュニティセンター

- ② 長浜市地域活力コーディネーター研修
相談対応で大切にしていること
12月13日 神照まちづくりセンター

- ③ 令和5年(2023年)トンボとその仲間たち総会
基調講演「ボランティア活動の運営について」
ボランティア活動は楽しく！ワクワク！
1月16日 新旭公民館

- ④ 近江八幡市職員研修
協働のまちづくりに関する職員研修 市民活動団体が求める職員像
3月1日 近江八幡市総合福祉センター ひまわり館

Ⅲ. 生活支援コーディネーター（第1層／市域）

<目標>

高齢になっても、認知症になっても暮らし続けることができるまちづくりをめざし、生活支援や介護予防につながるサービスを市民や市民活動団体および事業者が持続的に担う体制を整える目的で、市内の生活支援や介護予防サービスなどの地域資源情報を集約する。

本年度は、シニア世代の社会参加の機会を増やすために、シニア世代が中心に活動するボランティアグループの取材と情報発信、シニア世代が集まるサークル活動のヒアリングなどをおして、継続のために必要な支援などを行うこととした。また、社会参加を促進するツールとしてスマホの活用を促す機会を団体や区・自治会サロンなどで行う。

<成果>

シニアの社会参加を促す目的で、ボランティアグループやサークルへのヒアリングから、ボランティア診断を作成し「たかしまお役立ち情報」に掲載することができた。

多様な分野から生活支援体制整備に関わる委員が集まる協議体会議では委員に「認知症になっても暮らしやすい街」について考えてもらい、アイデアをまとめたチラシができました。このチラシを生活支援コーディネーターの活動の基礎として、この事業でめざしていることを市民にも説明がしやすいツールとして活用した。このチラシの内容は「たかしまお役立ち情報」にも掲載している。

シニア世代へのスマホ講座や相談会の開催については、区やサークルなどから依頼があり、ニーズの高さを感じた。

(1) 生活支援コーディネーター定例会・生活支援体制整備協議体会議

第1層および第2層の生活支援コーディネーターと地域包括支援課で毎月定例会を持ち、年間のテーマについて、高島市の生活支援体制整備協議体の運営について検討した。

<第1層・第2層定例会>

第1回定例会 4月18日 13:30～15:30 高島市社会福祉協議会

第1層、第2層の活動報告 年間計画について

第2回定例会 5月9日 13:30～15:30 高島市社会福祉協議会

定例会の持ち方、今年度目標「社会とのつながりを持っている高齢者を増やそう」決定

第3回定例会 6月13日 13:30～16:30 高島市社会福祉協議会

社会参加とは？社会参加と介護予防の関係について

第4回定例会 7月11日 13:30～16:30 高島市社会福祉協議会

第1回協議体会議について

第5回定例会 8月4日 13:30～16:30 高島市社会福祉協議会

第1回協議体会議について詰める

第6回定例会 9月12日 13:30～16:30 高島市社会福祉協議会

第1回協議体会議から今後の活動を整理「認知症への理解を広げる」

第7回定例会 10月11日 16:00～17:30 高島市社会福祉協議会

第1回協議体会議まとめたチラシ作成

第8回定例会 11月14日 16:00～17:30 高島市社会福祉協議会

しふくの広場利用者を増やすための広報について、(株)ホンキ主催スマホ講座について

第9回定例会 12月21日 16:00～17:30 高島市社会福祉協議会

生活支援コーディネーター学習情報交換会報告、冊子「お役立ち情報」について

第10回定例会 1月16日 16:00～17:30 高島市社会福祉協議会

第2回協議体会議について、冊子「お役立ち情報」について

第11回定例会 2月13日 13:30～15:00 高島市社会福祉協議会

第2回協議体会議打合せ

第12回定例会 3月6日 13:30～15:00 高島市社会福祉協議会

今年度ふりかえり、次年度に向けて

<第1層生活支援体制整備協議体会議>

第1回協議体会議 8月10日 13:30～15:00 今津東コミュニティセンター

認知症について事例を聞き、参加者が「困りごと」「できること」「地域資源」を出した。

第2回協議体会議 2月20日 13:30～15:00 今津東コミュニティセンター

第1回からの継続で認知症について「知ろう考えよう」「関わろう」「つながろう」「場所をつくろう」の4つに関わるアイデアを出した。

<第2層協議体会議>

第1回 今津セーフティネット連絡会

10月14日 13:30～16:00 今津東コミュニティセンター

栄区福祉推進委員の取り組み事例、福祉すごろくで交流

第2回 今津セーフティネット連絡会

2月21日 13:30～15:00 今津東コミュニティセンター

「1人ぼっち」について考える

(2) 研修参加

4月9日 10:00～12:30 オンライン

認知症の世界オンラインゲーム体験会

6月8日 13:30～15:30 オンライン

第4回生活支援コーディネーターカフェ WEB セミナー

6月13日 16:00～17:00 市役所

我がまちの地域包括ケアを考える会議

6月23日 14:00～15:30 新旭公民館

第1回家族介護教室

7月7日 14:00～15:30 新旭公民館
 第121回高島市医療連携ネットワーク運営協議会

9月1日 9:00～9月2日 15:00 オンライン
 いきがい・助け合いサミット in 東京

9月15日 13:30～15:00 安曇川公民館
 第1回つどい見守り情報交換会

1月18日 16:00～17:00 市役所
 みんなの居場所に関する打合せ会議

1月30日 13:30～15:00 市役所
 一般介護予防事業評価会議

2月6日 13:30～16:00 オンライン
 長野県・移動サービス事例報告会

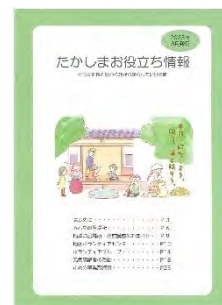
2月16日 14:00～15:30 市役所
 多職種連携地域ケア会議

3月15日 13:30～16:00 新旭公民館
 主任介護支援専門員等研修会

3月20日 13:30～15:00 市役所
 地域包括ケア推進会議

(3) 地域資源冊子「たかしまお役立ち情報」の発行

生活のお役立ち情報に加え、高齢になっても社会参加の機会が維持されることを目的に「ボランティア診断」やボランティアグループ、元気高齢者のイキイキ活動、男性の参加が多い活動、仲間で作る多様な居場所などを掲載した。



生活のお役立ち情報に掲載する新たな事業者の発掘については、高島市商工会から会員への定期発送で、冊子への情報提供についての依頼文を同封していただいた。また、本来の事業とは別に高齢者のための生活のサポートをしている事業所の聞き取りについても掲載した。

発行部数 2,000部

配布先 市地域包括支援課から関係機関へ

掲載事業者、掲載の居場所グループやサークル、民生員児童委員、区長・自治会長、福祉推進委員など必要とされる市民

<お役立ち情報へ掲載できる新たな事業所ヒアリング>

事業の範囲を越えるが「ついでですから」と生活支援を行っている事業所を見出し、ヒアリングし、冊子「お役立ち情報」への掲載につなげた。

(1) クリエイトマエダ

業務：草刈、庭木等の伐採および処分。

高齢者対応：お客の依頼があればゴミの分別、回収をなどできる限り対応

(2) Re-live りりび

業務：住宅、外構全般の修繕等

高齢者対応：お客の依頼があれば家具の移動、電球交換、季節の家電入れ替えなど対応

(4) シニアのためのスマホ講座・相談会

高齢者がスマートフォンを適正に使い、社会参加の維持、家族の安心、生活支援につながる可能性がある。また地域でスマホ講座や相談会をきっかけに、住民同士のコミュニケーション促進もめざした。

日程	団体名	参加人数	内容
5月26日	堀川女子会	11	78～88歳/LINEの使い方など
5月27日	FEC自給圏ネットワーク	2	PCとスマホでZoomの使い方など
5月30日	たかしま音頭愛好会	8	70～80代/LINEグループ作り方
6月30日	結いの会	6	70代/LINEミーティングの方法
10月16日	今津望みの郷自治会	5	70～80代/LINEの使い方
10月25日	新旭地域住民自治協議会	4	80代/スマホ基本操作、LINEの使い方など
11月1日	マキノまちづくり協議会	7	スマホ基本操作、LINEの使い方など
11月11日	鴨川平自治会	6	60～80代/LINEグループの作り方
11月25日	新旭さわやか卓球	5	LINEグループの作り方
12月6日 ～16日	株ホンキのスマホ講座		市内全域で開催されたスマホ講座に参加者状況の把握のため見学
3月14日	しずさと紡ぐ会 藁園ふれあいカフェ	3	60代/スマホ基本操作、LINEの使い方など

(5) 団体等訪問

ボランティアグループやサークル、高齢の方が集まっておられる場を訪ね、お役立ち情報の紹介、スマホ講座の案内などお話ししながら運営状況や課題などの聞き取りをした。

月日	団体名	参加人数	内容
4月10日	北仰東自治会	10	年間の行事計画を聞き取り
4月19日	シニアヨガ教室	8	運営状況聞き取り、第1層協議体会議説明
5月16日	大師山ボランティアサークル	23	高齢者の社会参加状況聞き取り
5月18日	歌声はまかぜ	70	活動状況聞き取り

5月19日	鴨ばあばの会	4	活動および社会参加について聞き取り
5月21日	堀川スマイルカフェ	10	活動状況聞き取り
5月31日	しずさと紡ぐ会	2	活動状況聞き取り
6月1日	女騎士館(喫茶店)	2	高齢者の集まり状況聞き取り、お役立ち情報の紹介
6月1日	喫茶店 萌香		高齢者の集まり状況聞き取り、お役立ち情報の紹介
6月8日	ほほえみ工房	8	活動状況聞き取り
6月22日	男のまかないクラブ	10	活動状況聞き取り
6月23日	エンジョイマキノ卓球クラブ	18	活動状況聞き取り
6月26日	わらわらカフェ	15	カフェ再開の状況聞き取り
7月24日	新旭地域住民自治協議会		オープニングイベントでスマホ相談会案内
8月4日	看取りステーションたんぼぼ	4	活動内容の聞き取り
9月13日	やんちゃおやじの会	11	活動状況の聞き取り
10月5日	歌声はまかぜ	40	スマホ相談会の案内
10月12日	安曇川しふくの広場	3	活動紹介動画作成
10月26日	プチトマト創作隊	11	活動状況の聞き取り
12月7日	Be スマイル	2	協議体会議報告、「まごころサポート」事業聞き取り
12月7日	高島市老人クラブ連合会		協議体会議報告、活動状況聞き取り
12月8日	今津郵便局		協議体会議報告、見守りサービス事業聞き取り
12月15日	未来のジャム	50	
12月20日	クリエイトマエダ		お役立ち情報の掲載依頼
12月20日	ふちた電器		お役立ち情報の掲載依頼
1月12日	Re-live りりぶ		お役立ち情報の掲載依頼

(6) 相談対応

月日	団体名	対応人数	内容
5月16日	個人	1	高齢者の集まり場紹介
4月19日	シニアヨガ教室	8	運営状況聞き取り、第1層協議体会議説明
8月28日	新旭地域住民自治協議会	1	スマホ相談会の開催について

IV. 関係人口創出に向けた地域団体の発掘

<目標>

人口減少と高齢化が進む高島市では、都市部に暮らしながら、高島市に関心を寄せ、地域に関わりを持ちたいと高島市に足を運ぶ関係人口を「高島縁人(たかしまえんじん)」と呼び、高島縁人を増やす事業を進めている。

当事業を市総合戦略課から受託する(有)と一くからの依頼を受け、高島縁人を受け入れる市民活動団体や地縁組織などを発掘し、高島縁人との関わりにより団体や地域の継続的な活動につながることをめざす。

<成果>

市民団体 2 団体と地縁組織 1 地域を高島縁人につなぐことができた。またバーチャル空間におけるオンライン交流会では、市内で高島市の特性を活かした事業を行う 3 事業者を紹介することができた。オンライン交流会には県内の市民活動支援センターなどのスタッフからも関心を寄せていただき、6 団体 9 名に運営をサポートしていただくことができ、高島縁人の取り組みへの関心を高めることができた。

(1) 受入れ団体発掘

① 認定 NPO 法人 TSC

TSC フリースクール

市内で唯一のフリースクールを今津で開設。

2022 年 4 月から生徒募集開始。子どもも大人もやってみたいことを思いきり楽しめる場所にしたい。子どものような大人に来てほしい。

びわ湖葦船プロジェクトも企画。葦を使って船を作るワークショップも予定しているらしい。



② 上開田営農組合

高齢化率約 52%。おいしい水「あかやの水」とお米、薬師堂が自慢。

営農組合は無農薬無化学肥料で米を栽培し、道の駅やピクランドで販売。

高島縁人の関わりについて、今はイメージが持てないとのこと。以前「上開田里山まつり」が移住女性を中心に 3 回開催された。おっきん椋川のようなイメージだった。現在は中心となる人がいないため開催できていない。

たらいち邸の河野さんは地域を PR してくれている。上開田の米を PR している。できる範囲で、都市から人が来る機会を考えていただければと伝えた。

③ 小荒路区

人口約 160 人、高齢化率 53%。小学生 3 人、青年クラブ解散。

特徴は稲作中心。水が豊富で生水がある。山菜が採れる。

野面積みの石垣が多い(現在は草に覆われている状態)。

高島縁人の関わりは、サロンで地元高齢者が語る古写真の風景や暮らしを聞き取りする人がいるといい。郷土料理を一緒に作り、食べるなどもいい。石垣の草刈作業や「石垣マップ」づくりなど



(2) オンライン交流会

oVice を使いバーチャル空間でのオンライン交流会の開催に協力した。

地域特性を活かした事業、地域課題に対応した事業展開をしている事業者を紹介した。当日の運営サポートを県内の市民活動支援センターに呼びかけ、協力者とともに交流会が開催できた。

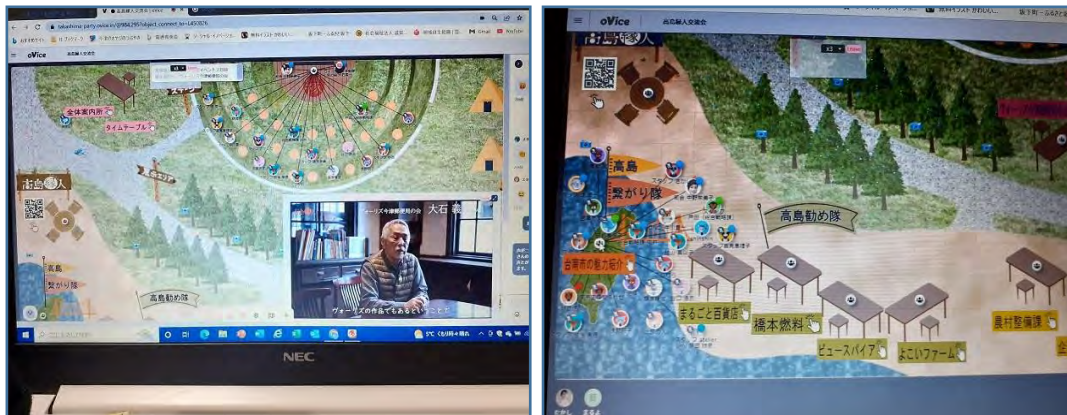
○開催日

交流会：10月7日(金)13:00～10月9日(日)13:00

交流会：12月2日(金)12:30～12月3日(土)13:00

ブルームグリーンエンジン：2月15日(水)21:00～22:00

ブルームグリーンエンジン：3月15日(水)21:00～22:00



○紹介事業者

① よこいファーム 近江プリン

米、ニンニクの生産がメインだが、市内の環境に配慮した生産の農産物を使い、プリンを生産。

② 有限会社橋本燃料

市内の事業者や家庭からの廃食油からバイオディーゼル燃料を精製しエネルギーの地産地消をめざす。精製過程の副産物でアルカリ洗剤を作り販売している。

③ 企業組合ビュースパイア

食事、運動、睡眠を整え、健康な体づくりのケアをしている。子どもや親子に発酵食品の大切さを伝える絵本「菌たろう」の読み聞かせワークを各地で実施。

○オンライン交流会サポーター

淡海ネットワークセンター、しが NPO センター、甲賀市まちづくりセンター、ハートランド財団、近江八幡市、まちづくりネット東近江、たかしま市民協働交流センター

9名

(3) 高島縁人コーディネーター会議

高島縁人の運営メンバーで月1回会議を持ち、関係人口への発信、市外イベント、オンライン交流会などの運営について協議した。

日時	場所	内容
5月11日	wacca	関係人口に関する市の目標、年間計画など
6月15日	wacca、Zoom	オンライン交流会、公式LINEについて
7月6日	wacca	オンライン交流会、ウェブサイト、公式LINEについて
8月6日	今津東コミュニティセンター	オンライン交流会打合せ
10月5日	wacca	オンライン交流会打合せ
10月12日	wacca	オンライン交流会ふりかえり、12月オンライン交流会について
11月10日	oVice 内	オンライン交流会役割り分担
2月15日	wacca	オンライン交流会、市外の交流イベント、公式LINEについて、団体サポーター状況共有
3月15日	wacca	オンライン交流会場の活用について

(4) その他

「たかしまワークシフト」基盤構築支援業務 公募型プロポーザル審査委員
5月24日(火)

V. たかしまの森へ行こう！プロジェクト

<目標>

高島市の水源を守る豊かな森に市民が関心を向け、市民が森に関わる機会を提供することを目的に、森に関する学びの機会、森を訪れる機会、森での生業を知る機会を作る。

今年度は森での生業を知る機会として、持続可能な森林経営の方法として注目されている自伐型林業の現実を知る機会として5回連続講座で「小さな林業の暮らし方を学ぼう」を実施する。

市民が森に足を運ぶ機会として朽木の古道を訪ねる企画の検討、各地で課題となっている竹林整備に関わる検討、炭窯や炭焼きに関する交流や学びの機会をつくる。

<成果>

「小さな林業の暮らし方を学ぼう」では、市内外から幅広い年代の参加者が集まり、関心の高さを感じた。講師から自伐型林業で生計を立てる難しさと技術習得により森に関わる暮らし方について具体的な事例をすることができた。山間集落では森に関わる地域の方の暮らし方を学ぶことができた。参加者の中には、今後も山間集落に足を運び、何かできることを手伝いたいとの声も出ていた。

朽木の古道については、一般参加を募る企画にすることはできなかったが、今後も古道をとおして森に足を運ぶ機会を探りたい。

森林水産課から市内企業が所有する安曇川沿いの竹林と雑木の混合林の整備に関する相談があり、市民に開かれた森づくりに向けて当プロジェクトで対応していくことになった。

1. 小さな林業の暮らし方を学ぼう

<概要>

全国的に注目されている自伐型林業について、生計を立てる面から現実を学ぶ機会を持つ目的で開催した。

長浜市と米原市の元地域おこし協力隊の2名に講師を依頼し、それぞれ自伐型林業で地域定着を目指して協力隊として活動し、木工や特殊伐採技術習得により生計を立ててきた。高島市森林組合からは高島市の森林の実情、組合の取り組みおよび森づくりをめざすエーゼロ株式会社滋賀支社の活動を学んだ。山間集落での林業や暮らしを知るために、今津町椋川、朽木雲河谷を訪れ、森林資源の活用や自伐型林業の実践現場、炭焼きなどを学ぶことができた。

① 小さな林業とグリーンウッドワークの暮らし

10月15日(土)10:00~15:00 おっきん椋川交流館

講師：鈴木孝平さん（スーパー生木ラボ）

参加：4名（高島市、京都市、西宮市）

② 小さな林業と里山を活かした暮らし

10月29日(土)10:00~15:00 森林公園くつきの森

講師：東逸平さん（LLP木民）

参加：12名（高島市、愛荘町、京都市、西宮市、南丹市）

③ 高島市森林組合の事業と森林の再生

11月23日(水・祝)10:00~15:00

講師：清水安治さん（高島市森林組合・
エーゼロ株式会社 滋賀支社長）

参加：15名（高島市、愛荘町、京都市、西宮市）



④ 小さな林業と山間集落の暮らし

(1) 椋川・椋川の広葉樹を活かす仕組みづくり

11月26日(土)10:00~15:00 おっきん椋川交流館

講師：是永 宙さん(結いの里・椋川)

参加：14名(高島市、愛荘町、京都市、西宮市、東大阪市)

交流会：11月26日(土)17:30~19:00 森林公園くつきの森

椋川・雲洞谷：4名

参加：9名(高島市、愛荘町、京都市、西宮市、東大阪市)

(2) 雲洞谷・朽木の山を守り続けるために

11月27日(日)10:00~15:00 雲洞谷集会所

講師：井上岩夫さん(まるくもくらぶ 代表)

参加：9名(高島市、愛荘町、京都市、西宮市、東大阪市)



参加者感想(一部)

- ・ 質疑応答の時間もしっかりとあり、様々な経験をされている他の参加者の方々のご質問も大変興味深いものでした。
また、東さんが現在、どのような形で生計を立てているのかということ具体的な活動事例でお話いただいたことも、今後、自伐型林業を実践していきたいと考えている私にとっては貴重な機会となりました。
- ・ 体験型の私たちにも出来る林業が何かあればなと思います。それには、現在の日本の林業の実情を知る事が大事ですよね、現場の方のこうしたお話を聞いて、一人ひとりが、何が出来るのか考え実行する事が大切なように思いました。
- ・ 森林組合長さんとして高島市の未来を見据えて活躍されながらエーゼロでいろんな事業を手掛けておられて、講演の内容はとても実践的で深く感銘しました。
私が漠然とした日本の森に対して危惧していたことの答えもあり、明るい未来を考えながら、これから森の活動に参加しながら、魅力的な滋賀県、魅力的な高島市をもっと知り深めて行きたいと思えます。
- ・ どのプログラムも講師の方々の実際の活動をとおした経験からのお話で、日常では伺えない森林・林業に関する考え方や課題を具体的に知ることができ貴重な機会となりました。
- ・ 私自身は当面、林業技術の基礎を習得すべく経験を積んでいくつもりですが、地域の自然環境を良好に維持していくことを目標に小さな林業の実践を目指していきたいと考えています。今後もこのような機会があればぜひ参加させていただきたいと思えます。

2. 古道ハイキング企画検討

<概要>

朽木の古道整備をされている方が生杉からナベクボ峠を越え、福井県側の廃村を目指すルートを歩くとのことで、同行させていただいた。市民が歴史を学びながら森に入る機会として、古道ハイキング企画が出来ないかと検討したが、リスク管理が難しいと判断し、企画には至らなかった。

今後も、古道ハイキングから森に関わる企画について検討していきたい。

5月24日(火) 参加者：8名



3. 第27回全国棚田・千枚田サミットへの協力

① 実行委員会への参加

4月20日 第6回 運営委員会

5月19日 講演・分科会・現地見学班会議

6月2日 第7回 運営委員会

7月28日 第8回 運営委員会

10月1-2日 サミット当日 会場整備など

2月10日 第9回 運営委員会

② 第2分科会への参加

10月1日 藤樹の里文化芸術会館

テーマ「棚田に根付く“価値”を繋げる～地域産業の振興と次世代への継承」

炭焼き技術の継承と森の管理を軸に、継承者の高齢化が進む山間地の地域産業をどのように次世代につなぐのか、山間地に継承されてきた技術を現在の社会でどのように価値づけるのかについて意見交換をした。人口減少の中、関係人口、移住者など多様な人の関わり、交流をつくるのが当法人の役割であり、森への関わりをとおしてそのような機会を作りたいと伝えた。

話題提供：国境炭焼きオヤジの会

NPO 法人麻生里山センター

まるくもくらぶ

結いの里・椋川

NPO 法人コミュニティねっとわーく高島

コーディネーター：龍谷大学社会学部教授 脇田健一さん

4. 綾羽工業の森について

新旭町太田の安曇川沿いの雑木林はカワウやサギの繁殖地となっている。綾羽工業株式会社の敷地内の森は、人の手が入っていないため多くの生きものが生息しているが、近隣では臭気や糞害が発生している。

綾羽工業(株)とともに、この森を市民に開かれた森として、市民と企業がともに森を整備し、活用していく方法について検討した。

11月8日 綾羽工業(株)、市環境政策課、交流センターで相談

3月27日 綾羽工業の森見学、次年度の活動について相談



5. 情報発信

市民が森へ足を運ぶ機会や森に関わり機会となる他団体の情報をホームページ等で発信した。

- | | | |
|-------|-------------------------------------|--------------------|
| 7/22 | 第2回「外来種ジキタリス駆除」 | (今城かつのぶ氏 主催) |
| 7/23 | 源流の駅「山帰来」森のワークショップ | (針畑活性化組合 主催) |
| 9/3 | 源流の駅「山帰来」散策路をつくろう | (針畑活性化組合 主催) |
| 9/10 | トチノ実拾いと巨木観察会 | (巨木と水源の郷をまもる会 主催) |
| 10/9 | 高島プロジェクト プロデュース 田舎暮らしDIY 交流「漆喰手塗体験」 | (高島プロジェクト 主催) |
| 10/16 | 哲学カフェ in くつきの森 | (たかしま結びと育ちの応援団 主催) |
| 10/16 | 第11回 枿の木祭 | (巨木と水源の郷をまもる会 主催) |

6. 運営会議

- 第1回 4月12日 参加者6名
 - ・今年度活動方針について(「人」にフォーカス、森を歩くイベント、炭窯他)
- 第2回 6月29日 参加者5名
 - ・古道ハイキングについて、炭窯リニューアル計画など
- 第3回 10月7日 参加者3名
 - ・炭窯リニューアルについて、棚田サミットへの参画について、次年度計画など
- 第4回 2月1日 参加者5名
 - ・今年度のふりかえり、次年度事業について

Ⅵ. コミュニティ事業

1. 中浜区・北浜区広域避難所運営に関する会議

<目標>

広域避難所でもある今津東コミュニティセンターの指定管理者として、平成 27 年度から中浜区と北浜区と相談しながら毎年実施してきた事業。今年度から施設管理者が市になったため開催方法について防災課、市民協働課とも相談し、継続可能な体制を考える。

今津地域住民自治協議会は防災関連事業で広域避難所運営に関する区役員同士の話し合う機会づくりをしており、今津地域住民自治協議会とも開催について調整する。

<成果>

経年の実施により、区の役員は広域避難所への理解は進んでいる。それぞれの区で広域避難所へ避難される住民の想定を作っている。また一次避難所と広域避難所の連絡担当を作るなど、それぞれの区で一次避難所と広域避難所の役割りを理解し、準備されている。それぞれの準備状況などを参加者同士で共有することができた。

パーテーションや段ボールベッドの組み立て体験や施設の使い方に関する意見交換によって、避難者自ら役割りを担い、運営に関わることを意識していただく機会になった。

次年度以降も、今津地域住民自治協議会と調整し、中浜区、北浜区の避難所運営を考える機会の継続を支援したい。

① 打合せ

9月30日 防災課、市民協働課と打合せ

10月7日 今津地域住民自治協議会 防災担当と打合せ

11月4日 中浜区長、北浜区長、今津地域住民自治協議会と打合せ

② 実施

12月11日(日)9:30~11:00

参加者 10名

- ・館内見学
- ・パーテーション、段ボールベッド組み立て体験
- ・広域避難所の役割りと機能について
- ・中浜区、北浜区の防災備品や防災体制の共有
- ・広域避難所の使い方、運営について意見交換

③ ふりかえり

- ・広域避難所の役割りと一次避難所の役割りの違いを理解し、区の中で広域避難所と一次避難所の連絡係を設置するなど継続の成果が見える。
- ・施設運営者から声かけがあり、広域避難所について考える機会を持ってきた。それぞれの区が主体的に広域避難所の運営を考える姿勢が必要。



2. 郷土料理教室

<目標>

郷土料理「鮒ずし」漬け体験をとおり、湖魚を食べる習慣や琵琶湖や漁業の現状について知る機会を作る。鮒ずし好きのコミュニティ、人の出会いとつながる機会を作る。

<成果>

滋賀県水産課の指導で鮒ずしの漬け方、琵琶湖や漁業の現状などについて学んでいただくことができた。参加者間の交流が生まれた。

(1) 鮒ずし漬け体験会

開催日 7月30日(土)9:30~15:00

場 所 今津東コミュニティセンター

参加者 13名(5グループ)

講 師 上野世司さん(滋賀県水産課)

内 容 参加者自己紹介、漬け方説明、塩切鮒洗い
琵琶湖についてのお話し(滋賀県の農業遺産、琵琶湖と農業と魚の関係など)
ご飯と鮒の漬け込み



(2) 鮒ずし味見会

鮒ずし漬け体験会参加者および鮒ずし好きな市民の交流を目的に、1月28日の開催に向けて広報し14名の申し込みがあったが、開催前日および当日の大雪により中止した。

3. みんなのほんだな

<目標>

本とおした人の交流を目的に、平成 29 年から今津東コミュニティセンターに設置。今年度からは施設運営者と協議し、適宜本の整理をしながら継続することになった。年に 1 回の本の整理作業を本好きな市民の交流の機会として開催する。

<成果>

年間とおして本の入れ替わりがあった。本を選ぶ人、本を読む人の姿も見られた。本の整理作業では、本好きな市民が参加し、おススメの本紹介など市民の交流の機会になった。

※「みんなのほんだな」とは

誰かに読んでほしい本や読み終わった本を持って来ることができ、また気になる本や読みたい本を持って帰ることができる本棚。シンプルな本の交換の仕組み。

ルール：本の交換は 1 日 3 冊まで。

交換できない本は、マンガ、雑誌、情報誌、辞典、宗教・政治・法律関係の本、情報の古い専門書、汚損のひどいもの

(1) 本の整理作業

2月11日(日)13:30~15:00

参加者 6名

内 容 古い本、汚れている本を箱に詰める

本の茶話会（おススメの本、好きな本などの話で交流）

(2) 本の寄付

認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会

ステナイ生活へ寄付

3月17日発送



4. 映画「夢みる小学校」高島市上映会

<目標>

主体的な子どもの学び、体験からの学びをテーマに制作されたドキュメンタリー映画「夢みる小学校」の上映を、市民による実行委員会で開催することをめざし、実行委員会の立ち上げ、開催に向けて支援し、市民主体の上映会実施をめざす。

<成果>

実行委員会の事務局的な立場で参加し、関心を持って集まったメンバーがさらに関心ある市民を呼び込み実行委員会を立ち上げることができた。

高島市で上映する目的やテーマ、開催日程を決定することができ、次年度6月に向けて具体的な話し合いを進めることができた。次年度の上映会に向けて、実行委員会を進める。

(1) 準備・実行委員会

準備(相談)

1月13日 2名 映画「夢みる小学校」について
“夢みる小学校”びわこ一周上映リレーについて

1月27日 3名 実行委員会について
上映時期について

実行委員会呼びかけ

リストアップ 17名

実行委員会① 2月23日 参加 13名

- ・上映の目的について
- ・上映会の開催場所や時期について
- ・見てもらいたい人とは
- ・ライングループで情報共有

実行委員会② 3月9日 参加 12名

- ・テーマを決める
- ・開催時期と上映会プログラムの検討
- ・予算案と協賛依頼について

(2) 上映会スケジュール・開催場所

開催時期 6月中下旬

平日、土日、午前、午後、夜など、選択肢をできるだけ多く作る

開催場所 今津東コミュニティセンター

湖西生涯学習センター(旧広瀬小学校)

利便性を高めるため2か所で開催する

